

平成30年度全国育成会連合会 事業所協議会全国研修大会 沖縄大会



開会式の様子

1月26日(土)、那覇市青年会館において「平成30年度全国手をつなぐ育成会連合会・事業所協議会全国研修大会・沖縄大会」を約200名(県外80名、県内120名)の参加者にて開催いたしました。

厚生労働省の片桐公彦専門官の行政説明をはじめ、シンポジウムコーディネーターには全国育成会連合会の田中正博統括、又村あおい氏などをお招きして、障害のある人の日中活動支援や高齢社会における地域生活への支援などについて、厚い討議が行われました。

昨年4月には総合支援法の見直しが施行され、併せて障害福祉サービスの報酬改定が行われました。改定後の検証が不十分な現在では、事業所運営に与える影響まで議論されていませんが、利用者の自立支援の場である事業所のサービス維持向上については、今後も積極的に声を上げ続けなければなりません。

少人数の無認可作業所からスタートし、障がいのある人が地域で安心して生活できる環境を求めて、親の会運動の両輪と言われてきた地域の事業所ですが、いつのまにか成果主義的運営のあり方が静かに浸透し、産業化への進行が危惧されています。

また、事業所等における虐待の実態把握は氷山の一角であり、意思決定支援などを含めた権利擁護の実践も事業所に課せられた大きな課題であります。

少子高齢化の時代に、新たな展開となる地域福祉を活用するにあたり、微力な個人のみだけではなく、育成会という組織力を最大限に活用して、様々な課題を共有して取り組みながら、共生社会の実現という大きな目標に向かわなければなりません。

地域生活の拠点であるべき事業所ができる事、さらに事業所でないべき事業所ができる事、さらに事業所でないべき事業所の役割や地域生活支援のあり方、職員の支援力の向上、持続的な経営基盤の安定など、当大会で様々な視点から検証した議論を、今後の運営に役立てていただければ幸いです。

結びになりましたが、本大会の開催にあたり、ご支援ご協力頂きました関係者及び関係機関の皆様、そしてこの大会の趣旨にご賛同賜りご協賛くださいました多くの皆様に、心より感謝を申し上げますとともに、ご参加くださいました皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしましたして、ご報告とさせていただきます。



2面に大会の様子を掲載しております☆

♪ 県育成会のHPにもカフィーで掲載中 ♪

♪ 知的な障がいのある人と共に ♪

♪ 手をつなぐ・うちな ♪

発行所
沖縄県手をつなぐ育成会
那覇市首里石嶺町4-373-1
沖縄県総合福祉センター内
TEL 098 - 882 -5727
FAX 098 - 882 -5720
E-mail:oki-iku@woody.ocn.ne.jp
HP : http://www.oki-iku.com/
発行人 理事長 田中 寛
定価 50円(会費を含む)

【目次】

- P 1 全国育成会連合会事業所協議会沖縄大会
- P 2 沖縄大会写真・厚労省資料①
- P 3 厚労省資料②・理事通信
- P 4 理事長予定・ゆんたく広場 他



シンポジウムの様子



久保会長あいさつ

交流会の様子



田中理事長のあいさつ



資料のコーナー：厚労省資料 (1月26日事業所協議会全国研修大会沖縄大会資料より抜粋)

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の一部を改正する法律(概要) (平成28年5月25日成立)

趣旨

障害者が自らの望む地域生活を営むことができるよう、「生活」と「就労」に対する支援の一層の充実や高齢障害者による介護保険サービスの円滑な利用を促進するための見直しを行うとともに、障害児支援のニーズの多様化にきめ細かく対応するための支援の拡充を図るほか、サービスの質の確保・向上を図るための環境整備等を行う。

概要

1. 障害者の望む地域生活の支援

- (1) 施設入所支援や共同生活援助を利用していた者等を対象として、定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行うサービスを新設する(自立生活援助)
- (2) 就業に伴う生活面の課題に対応できるよう、事業所・家族との連絡調整等の支援を行うサービスを新設する(就労定着支援)
- (3) 重度訪問介護について、医療機関への入院時も一定の支援を可能とする
- (4) 65歳に至るまで相当の長期間にわたり障害福祉サービスを利用してきた低所得の高齢障害者が引き続き障害福祉サービスに相当する介護保険サービスを利用する場合に、障害者の所得の状況や障害の程度等の事情を勘案し、当該介護保険サービスの利用者負担を障害福祉制度により軽減(償還)できる仕組みを設ける

2. 障害児支援のニーズの多様化へのきめ細かな対応

- (1) 重度の障害等により外出が著しく困難な障害児に対し、居宅を訪問して発達支援を提供するサービスを新設する
- (2) 保育所等の障害児に発達支援を提供する保育所等訪問支援について、乳児院・児童養護施設の障害児に対象を拡大する
- (3) 医療的ケアを要する障害児が適切な支援を受けられるよう、自治体において保健・医療・福祉等の連携促進に努めるものとする
- (4) 障害児のサービスに係る提供体制の計画的な構築を推進するため、自治体において障害児福祉計画を策定するものとする

3. サービスの質の確保・向上に向けた環境整備

- (1) 補装具費について、成長に伴い短期間で取り替える必要のある障害児の場合等に貸与の活用も可能とする
- (2) 都道府県がサービス事業所の事業内容等の情報を公表する制度を設けるとともに、自治体の事務の効率化を図るため、所要の規定を整備する

施行期日

平成30年4月1日(2.(3)については公布の日) 1月26日事業所協議会全国研修大会沖縄大会資料より抜粋

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改定内容

- 障害者の重度化・高齢化への対応、医療的ケア児への支援や就労支援サービスの質の向上などの課題に対応
- 改正障害者総合支援法等（H28.5成立）により創設された新サービスの報酬・基準を設定
- 平成30年度障害福祉サービス等報酬改定の改定率：+0.47%

障害者の重度化・高齢化を踏まえた、地域移行・地域生活の支援

1. 重度の障害者への支援を可能とするグループホームの**新たな類型を創設**
2. 一人暮らしの障害者の理解力、生活力等を補うための支援を行う新サービス（前回の法改正に伴うもの）、**「自立生活援助」の報酬を設定**
3. 地域生活支援拠点等の機能強化
4. 共生型サービスの基準・報酬の設定

精神障害者の地域移行の推進

1. 長期に入院する精神障害者の地域移行を進めるため、**グループホームでの受入れに係る加算を創設**
2. 地域移行支援における地域移行実績等の評価
3. 医療観察法対象者等の受入れの促進

就労系のサービスにおける工賃・賃金の向上、一般就労への移行促進

1. **一般就労への定着実績等に応じた報酬体系とする**
2. 一般就労に移行した障害者に生活面の支援を行う新サービス（前回の法改正に伴うもの）、**「就労定着支援」の報酬を設定**

医療的ケア児への対応等

1. 人工呼吸器等の使用や、たん吸引などの医療的ケアが必要な障害児が、必要な支援を受けられるよう、**看護職員の配置を評価する加算を創設**
2. 障害児の通所サービスについて、**利用者の状態や事業所のサービス提供時間に応じた評価を行う**
3. 障害児の居宅を訪問して発達支援を行う新サービス（前回の法改正に伴うもの）、**「居宅訪問型児童発達支援」の報酬を設定**

障害福祉サービスの持続可能性の確保

1. 計画相談支援・障害児相談支援における質の高い事業者の評価
2. 送迎加算の見直し

1月26日事業所協議会全国研修大会沖縄大会資料より抜粋

第5回全国育成会
連合会全国京都大会
表彰者決定



【沖縄県
手をつなぐ育成会
理事 仲井眞勇氏】

来る2月23日(土) 24日(日)に開催されます「第5回全国手をつなぐ育成会連合会全国京都大会」における被表彰者が決定いたしました。

永年の福祉活動に敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。

これからも健康に留意され、ご活躍されますこと願っております。



理事通信

― 障がい者への虐待について ―

理事 仲松 芳子



2020年の「東京オリピック、パラリンピック」が本番に向けて動き始めました。パラリンピックに向けて、身体の不自由さを克服し生き生きと練習に汗を流す選手の姿勢に感動します。来年に迫ったこの大会での選手の頑張りの結集が楽しみです。

身近なことでは「障がい者への虐待」について考えさせられています。高齢者、障がい者への体罰、言葉での責め、弱者に対する思いやりの欠如。最近、報道機関や障がい者団体広報等で、次々と問題点が出てきました。知的障害のある我が子の代理発言者である私達親の責任は大きくなります。

「支援する側」「支援される側」が、一人の人間として向かい合い「人」としての尊厳を尊重して事に当たり、お互いの気持ちを分かち合うことができる環境でありたいと願います。我が子等の毎日の生活が、笑顔で、楽しく、そして常に前向きに生きていくことのできる社会になることを願います。

又、私達は親の責任として「虐待」「権利擁護」について学び、認識を深め対策をしていかななくてはと強く思います。

各地域で、育成会の「障がい者虐待化防止・権利擁護」の講演会が行われています。積極的に参加して、現状を把握し、見識を深めていかななくてはと思います。八重山地区育成会でも2月に講演会を予定しております。

理事長行事報告 1月

- ☆1月4日(金) 沖縄県総合福祉センター
沖縄県福祉関係団体新年交流会
- ☆1月7日(月) 11日(金) 教育庁
教育委員会就学支援委員会
- ☆1月15日(火) 県庁
沖縄県自立支援協議会
- ☆1月16日(水) 沖縄県総合福祉センター
第4回県育成会理事會
- ☆1月22日(火) 沖縄市コザ運動公園
施設使用調整會議
- ☆1月23日(水) 県立博物館
バリアフリー整備ガイドラインセミナー
- ☆1月24日(木) 浦添市
浦添市自立支援協議会研修会
- ☆1月25日(金) 那覇市
全国育成会事業所協議会運営委員会
- ☆1月26日(土) 沖縄県青年會館
平成30年度全国育成会事業所協議會
沖縄大會
- ☆1月29日(火) 東京都
全国育成会連合会第3回役員會

理事長行事予定 2月・3月

- ☆2月2日(土) 南風原町
齒科SUN會議大會
- ☆2月7日(木) 県総合運動公園
施設使用調整會議
- ☆2月10日(日) 沖縄市
沖縄市育成會虐待防止訪問研修會
- ☆2月13日(水) 県庁
沖縄県自立支援協議會
- ☆2月27日(水) 浦添市
浦添市権利擁護部會
- ☆3月9日(土) 沖縄県総合福祉センター
第52回沖縄県知的障がい者教育・福祉・
就労研究大會

- ☆2月15日(金) 北九州市
九育連會議
- ☆2月23日(土) 24日(日) 京都市
第5回全国育成会連合會京都大會

『手をつなぐ・うちな〜』編集者
理事長：田中寛
事務局：高原奈々 東江早苗

田中理事長のゆんたく広場

事業所全国沖縄大會が、県内外の大勢の皆さんの協力のおかげで無事に終了しました。

大阪市育成会の飯塚さん(近畿地区)をはじめ、門内さん(北海道地区)、遠藤さん(東海・北陸地区)など新加入の若い全国事業所協議会運営委員の係わりにより、今後の協議会運営は時代や環境に即した感覚や発想を取り込みながら、全国の事業所発展に大きく貢献できると確信しています。

それにしても、「親の想いは・・・」や「作業所の歴史は・・・」などとの自分の経験的意識ではありますが、二廻りも異なる年齢差との大きなズレの中では、「負うた子に教えられて浅瀬を渡る」と、「またまた若い者には・・・」との「カラ元気」の間で揺れ動いています。

皆さんは、いかがでしょうか？

機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。
お申込みご希望の方は、
県育成会まで一度ご連絡下さい。
*年間購読料 3,900円



第52回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会のご案内

大会スケジュール (10:50~16:10)

- 10:00~10:50 受付
- 10:50~11:20 あいさつ・感謝及び表彰・祝辞
- 11:30~12:00 行政説明 (沖縄県子ども生活福祉部)
- 12:40~13:20 基調報告「障害者制度と全国手をつなぐ育成会連合会の方向性」
(全国手をつなぐ育成会連合会 統括 田中正博)
- 13:20~13:50 本人の意見発表(テーマ:わたしの生活と将来の夢)
- 14:00~16:00 シンポジウム「親亡き後、地域で安心して暮らせるためには？」
~就労と権利擁護、そして高齢化への対応~
★1:「教育・療育」支援と地域福祉
★2:「笑顔で働くために」
★3:「高齢期を自分らしく暮らすために」
- 16:05~16:10 閉会のあいさつ

表記大会が、3月9日(土) 沖縄県総合福祉センターホールにて行われます。シンポジウム形式で行われ、表彰式典、本人による意見発表も行われます。中央情勢や全国の動き等も、行政説明や基調報告の中でお伝えする予定ですので、是非この機会に御参加下さいませ。詳細は左記をご覧ください。

【申込み先】(公社) 沖縄県手をつなぐ育成会 (HPにも情報掲載中♪)
●那覇市首里石嶺町4-3 73-1 (県総合福祉センター内)
●TEL: 098-882-5727 FAX: 098-882-5720
●E-mail: oki-iku@woody.ocn.ne.jp
●申込み締切: 2月15日(金) 締切日が過ぎる際はご相談下さい!
●参加費用: 1人3,000円(本人1,500円)(弁当・資料代込)